

みどりのカーテンの作り方

～ゴーヤを育てて“みどりのカーテン”^{ひかげ}による涼しい日陰を作りましょう～

ゴーヤの収穫も楽しめます！

立派なみどりのカーテンを作って、
夏を涼しく過ごしましょう！



Toyonaka Green Action

Tiga

1. 植付け場所と用土

《プランター・フラワーポットの場合》

○場所

ゴーヤは根が成長できないと高くツルが伸びないため、野菜用で深さがあるものをおすすめします。

右のプランターで植える苗数は2株です。

○用土

鉢底石・・・底が隠れる程度

土・・・排水性と水もちの良い土が理想的です。

鉢の縁から2～3cmほど下まで土を入れてください。

例 { 花と野菜用の土：腐葉土=4：1
赤玉：腐葉土(とよっぴー)=6：4

おすすめ！

再生土を使う場合は、苦土石灰、腐葉土、堆肥などを加えて十分に混ぜてください。

これらに、有機肥料や緩効性化成肥料などを加えてください。

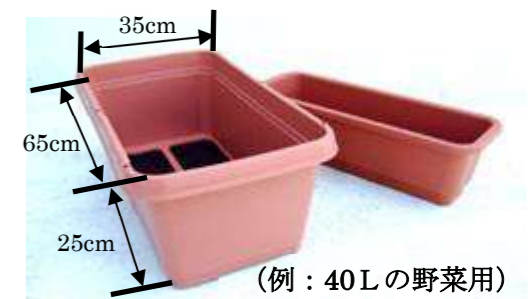
《地植え・花壇・畑の場合》

○場所

他の植物を植えていた場合は、新しく植える前に石や根を取り除き、30cm以上深く土を耕しておいてください。

○用土

連作となる場合は用土を入れ替えてください。その際は、《プランター・フラワーポットの場合》の用土を参考にしてください。用土の入替えをしない場合は、植付けの数日前に苦土石灰を混ぜて土を中和し、腐葉土や堆肥を混ぜて、植付け当日は緩効性化成肥料などを加えてください。



ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

【問合せ先】

豊中みどりの交流会連絡先（豊中市環境部公園みどり推進課）

〒560-0022 大阪府豊中市北桜塚1丁目3番1号（大門公園内）

TEL 06-6843-4141 FAX 06-6845-5813

✉ kouen@city.toyonaka.osaka.jp

2. ネット張り

ゴーヤはツル性植物で、ネットにからみながら伸びてカーテンになります。

ゴーヤは成長が早いので、植付け前にネットを張っておいてください。

○ネットの張り方

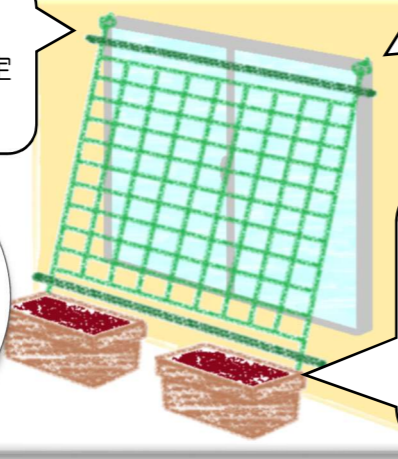
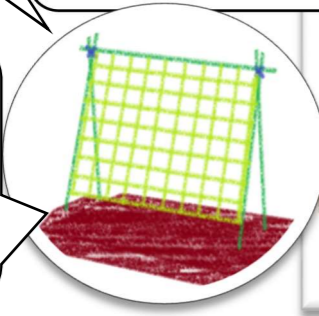
網目の大きさは10～15cm角程度の物が理想的です。たるまないように張ってください。

支柱の上部は結束バンドなどで、しっかり固定してください。

棒をネットに通すと、ネットがたるまず固定できます。

ネットの上部は、建物の梁や手すりにしっかりと固定してください。

支柱を使いネットを張ることもできます。その場合、支柱を土に深く挿し安定させてください。



ネットの下部は、プランターに直接巻き付けるか、ブロック(重いもの)にネットを巻き付けて固定してください。



※ネットの張り方は、設置場所や植付け場所によって異なります。各ご家庭にあった張り方を選んでください。

3. 植付け

○植付け位置決め

《プランター・フラワーポット》

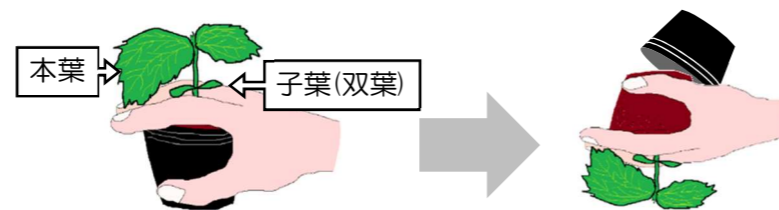
40ℓ型の場合は2株が目安です。多くの苗を植えても、お互いの根が邪魔し合って大きく成長しません。苗と苗の間隔は30cmほど開け、苗を植える穴をあけてください。

《地植え・花壇・畑》

苗と苗の間隔は30cmほど開け、苗を植える穴をあけてください。畝等うねを作って植えるとより成長しやすくなります。

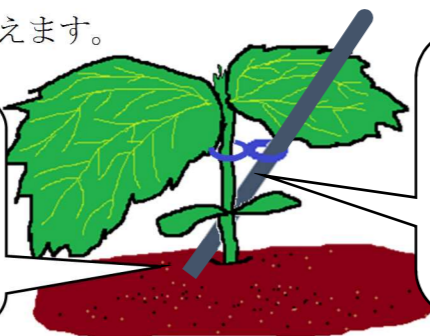
○植付け

人差し指と中指で苗の根元を挟んで株元を押さえるように支え反転させ、根鉢が崩れないよう丁寧にポットを引き上げ苗を出します。



植え付け深さは、根鉢の表面がちょうど隠れるぐらいにします。双葉が埋まらないように気をつけ、苗は真っ直ぐ立つように植えます。

植付け後、株元を土(とよっぴーや腐葉土)で覆うことを**マルチング**と言います。水の蒸発を防ぎ、水やりの時、葉っぱへの泥はねを防ぐことができます。



30cm程度の支柱を挿し、苗と支柱を紐等で軽く結び、苗が倒れないようにします。支柱の先をネットに掛けておくとツルがネットに絡みやすくなります(仮支柱)。

4. 水やり

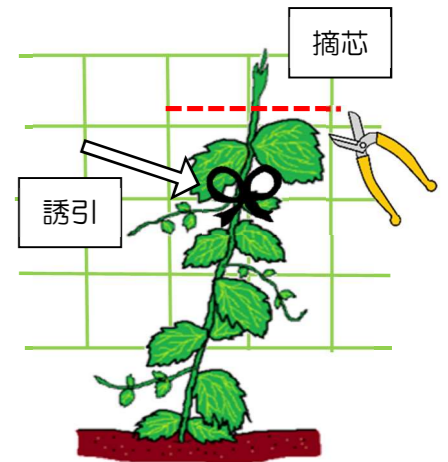
株元へやさしく水やりをしてください。1株に3～4ℓ、午前10時頃までを目安にしてください。ハスロのあるじょうろを使うと便利です。

5. 誘引と摘芯

ゴーヤが伸びてきたら、ネットにからむように誘引(ツルとネットをヒモでゆるく結ぶこと)してください。

ツルの長さが70～80cm、本葉が5～6枚程度になったら摘芯(ツルの先端を切り取ること)してください。

摘芯そくしをすると側枝が伸びてきます。ゴーヤは、この側枝に実がなり、みどりのカーテンとなる葉が多く茂ります。摘芯をしないと収穫できるゴーヤの数が減り、葉も茂りにくいため、理想的なみどりのカーテンになりにくくなります。



6. 追肥

花が咲き始めたら、化成肥料などを加えてください(1株につき1にぎり程度を2週間に1度)。根元から少し離れた位置で周りに加えます。土に混ぜ込む必要はありません。

7. 増し土

毎日の水やりで土嵩つちかさが減ったり、水の勢いで根が露出したときは、早めに根元に土を被せてください(増し土)。

